

アークフラッシュ施工された老人施設7年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

< * > <http://www.arc-flash.co.jp> **新着施工写真を更新いたしました**

新商品の資料を掲載しました。印刷も可能です。

大分市保健所は12日、大分市内の男性(34)から腸管出血性大腸菌O157が検出されたと発表した。感染源は不明。県内でO157感染が確認されたのは今年6人目。男性は先月31日に腹痛を発症。発熱、血便などの症状が出て現在入院中だが、快方に向かっている。同保健所は「手洗いを励行し、生ものを食べるのは出来るだけ避けて」と呼びかけている

香川県は6月に入り、県内の学校で、はしか(麻疹)の感染者が目立ち始めている。高松市立香川第一中で集団感染しているほか、香川大、徳島文理大で感染者が発生。県は警戒を強めている。香川第一中では、休校を決めた今月8日までにはしかと診断された生徒は累計5人だったのが、12日現在で18人に増加。休校は17日までの予定だが、川上伸吾教頭は「広がりを見極めながら市教委などと相談して対応を決めたい」と話している。県教委によると、12日現在、高松市立屋島西小と同築地小、県立三木高の3校でそれぞれ1人ずつ出席停止者が出ている。

香川大工学部(高松市林町)でも8日、学生1人が感染していることが分かり、同学部は翌9日から、この学生と同じ講義を受講している学生109人に自宅待機を指示した。徳島文理大香川キャンパス(さぬき市志度)でも11日、学生1人がはしかと診断された。県業務感染症対策課の調べでは、先月28日～今月3日の1週間で、はしかの症例報告は3件。しかし、今週に入り増加し、11日だけで、学生や子ども4人を含む5件の報告があった。同課は「感染は拡大傾向にある。対策は予防接種しかない」としており、ワクチン確保に努めている。

山梨県は12日、甲府市の市立甲府商業高校(望月正人校長、生徒数834人)が13～15日、はしか(麻疹)で臨時休校すると発表した。はしかによる休校は今季5校目(大学含む)。県健康増進課によると、同校では1～3年の生徒9人がはしかで欠席し、ほかにも3人が感染した可能性があるという

三重県健康福祉部は12日、海外旅行から帰国した津市内の無職女性(27)が細菌性赤痢と診断されたと発表した。女性は今月2～9日、モルディブとシンガポールに旅行。6日から下痢や腹痛、発熱などの症状が現れ、帰国直後の検査で感染していることが

分かった。既に症状はなく、回復しているという 県内で今年、細菌性赤痢と診断されたのは2人目

カンボジアの孤児のためのチャリティーコンサート ご案内

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この地球上で、生まれ合わせた同じアジア人として、罪のない子どもたちに勇気と希望をもたらす、精神的、経済的援助の手をさし伸べていきたいと思っております。この度、レイヨ・ブルメンタル氏とともに、アジアの中でも最も支援の必要性の高いカンボジアの首都、プノンペン郊外の多くの子どもたちの貧しい姿をまのあたりにし、孤児を含めた子どもたちが将来自立できるようにコミュニティー教育センターの建設をめざしているNGO(非政府組織)団体、ユニバーシティー・オブ・ザ・ネーションズ、カンボジア(NGO University of the Nations, Cambodia)を支援することになりました。

そこで、私共 NPO 法人アジアの孤児を支援する会では、カンボジアの孤児のためのチャリティーコンサートを来る9月3日(月)18:30 東京芸術劇場大ホールにて開催いたします。

当日のプログラムは、世界4カ国にて国際音楽コンクールに優勝し、現在TV出演し全国から注目を集めるオクサーナ・ステパニユック(建めくコロラトレーラ・ソプラノ、ウクライナの歌姫)、バラダン・アネックス(アンサンブル)並びにオスマン・サンコン氏のご出演をいただきハートフルなコンサートになることと存じます。当日は、カンボジア特命全権大使のご参列をいただく予定でございます。どうぞご出席いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2007年6月恵日

チャリティーコンサート実行委員会会長

NPO 法人 アジアの孤児を支援する会

理事長本多 定雄

〒171-0021 東京都豊島区西池袋5-2-1

TEL 03 3980 7938 FAX 03 3984 2043 Eメール:asia_orphopu.main.jp

<< 財団法人神奈川難病財団 >>

財団法人神奈川難病財団では、難病解明に尽力されている研究医師に対して援助金を交付しております。皆様からの暖かい義援、寄付をお待ちしております。

アークフラッシュ本部でも、チャリティー工事として皆様からご紹介の工事の利益を難病財団に寄付していきたいと考えております。皆様のご自宅でこの際には是非、アークフラッシュの威力をお試しください。又、アークフラッシュバンドの演奏会におきましてもチャリティー演奏会として皆様からのミュージックチャージの一部を寄付させて頂きたく、皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

<< 出た！！ ついに恐れていた事態が！！ >>

埼玉医科大病院 (埼玉県毛呂山町) と同大国際医療センター (同県日高市) の入院患者計 56 人が、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) に感染していたことが 18 日、分かった。うち、死亡した少なくとも 5 人については、感染が死因となった疑いがあるという。埼玉県は院内感染とみて、全患者の検便の実施を要請。しかし、病院側は「感染の恐れが強い患者を集中的に検査している」として拒否している。

同病院などによると、56 人は 3 月 24 日 ~ 今月 11 日の間に感染が確認された。いずれも 18 ~ 86 歳の男性 34 人と女性 22 人。病院は感染者を隔離する措置を取った。

報告を受けた県は、国立感染症研究所 (東京都新宿区) に疫学的調査を依頼。さらに患者の病棟、病室の移動歴や使った医療器具などの共通点を調べ、分析している。病院側によると、重症患者を同病院から同センターに運ぶことがあるという。県は分析結果がまとまる 7 月以降、何らかの行政指導を行う方針。

VRE はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌の治療に使う抗生物質「バンコマイシン」に耐性のある腸球菌。抵抗力が弱った状態で感染すると、肺炎などの感染症を起こして死亡するケースもある。

* 全患者の検便を要請されて拒否する理由は？ 病院の評判保持？ の為

* 事故が起きてからでないといけない行政指導は、命の代償となった事と認識を新たにしたいものです。(笹川談)

*** 発行責任者 株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 sasagawa@arc-flash.com

1 号 ~ 74 号までを配信希望の方はメールにて申込ください。